

2017 / 11 / 29 水 WED

13:30-17:10

13:00 開場 参加費無料

北とぴあ つつじホール

JR京浜東北線王子駅徒歩2分
東京メトロ南北線王子駅直結

車・自転車での来館は、収容台数に限りがございますので、
できるだけ公共交通機関をご利用下さい。

定員: 350名 【要事前参加登録】
定員に達し次第、受付を終了します。

PROGRAM プログラム

主催者挨拶… 菱山 豊
日本医療研究開発機構 理事

来賓挨拶… 塚本 圭二
文部科学省 科学技術・学術政策局
人材政策課 研究公正推進室 室長

13:50-14:50

講演 1
研究倫理をどのように教えるか
- 技術者倫理教育の視点から -
片倉 啓雄 関西大学
化学生命工学部 教授

14:50-15:30

講演 2
チュートリアル形式での研究倫理
教育の試み
西川 祐司 旭川医科大学 教授

15:45-16:25

講演 3
自発的な研究公正への意識付けをどう養うか
- 「健全な」研究公正の実現に向けて -
岡林 浩嗣 筑波大学
生命領域学際研究センター 講師

16:25-17:05



講師と参加者による
フリーディスカッション
中堅研究者に「考え、気づかせる」には
どうしたらいいか

閉会挨拶… 中村 賢司
日本医療研究開発機構
研究公正・法務部 部長

「考え、気づかせる」研究倫理教育

研究公正シンポジウム RIONETWORK キックオフシンポジウム

これまでの研究倫理教育は、ガイドラインの解説や罰則等の周知、
過去の研究不正事例の紹介など、研究不正防止に関連する知識を
習得させる座学が中心でした。

ところで、研究とは世の中に新しい成果を生み出していくものですので

研究者は法令・ガイドライン・学会等の規範などの趣旨を理解した上で

自律した判断が求められる場合が少なくありません。

そのためには、研究倫理教育において「考え、気づかせる」倫理教育を行い

自律的な行動がとれるようにすることが重要です。

本シンポジウムでは、この「考え、気づかせる」研究倫理教育について紹介します。

お問い合わせ先

研究公正シンポジウム運営事務局

☎ 03-5362-0117

📠 03-5362-0121
平日 9:30-18:00 (12:00-13:00 を除く)

✉ rionetwork2017@omc.co.jp



RIO NETWORK
BY AMED

お申し込みはこちらから
rionetwork2017@omc.co.jp



主催 AMED 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
Japan Agency for Medical Research and Development

共催 日本学術振興会 日本学術振興会 国立研究開発法人 科学技術振興機構
Japan Society for the Promotion of Science Japan Science and Technology Agency

文部科学省研究公正推進事業